



2026年2月13日

各位

会社名 株式会社リベルタ
代表者名 代表取締役社長 佐藤 透
(コード番号 4935 東証スタンダード市場)
問合せ先 専務取締役 二田 俊作
(TEL. 03-5489-7661)

“モノづくり” 特化型生成 AI を導入した 新「BUZZMADE (バズメイド)」始動のお知らせ

当社は、DX 支援のプロフェッショナル集団である株式会社 LIG ご協力のもと、モノづくりのノウハウを詰め込んだ“モノづくり”特化型生成 AI を開発・導入した、誰もが自由な発想で商品企画に挑戦することのできるプラットフォーム「BUZZMADE (バズメイド)」の新サービスを 2026 年 3 月よりスタートいたしますので、別紙の通りお知らせいたします。

“モノづくりの自由化”が、AIで加速する。 「あなたのちょっとした思い付きがヒット商品になるかも！」

日本初となる商品開発プラットフォーム「BUZZMADE（バズメイド）」が、株式会社LIG（リグ）と“モノづくり”特化型生成AIを共同開発。誰もがスキマ時間でプロ並みの商品企画書が作成可能に。

株式会社リベルタ（本社：東京都渋谷区、東証スタンダード：4935）は、誰もが自由な発想で商品企画に挑戦することのできるプラットフォーム「BUZZMADE（バズメイド）」に、株式会社LIGのご協力のもと、モノづくりのノウハウを詰め込んだ“モノづくり”特化型生成AIを開発・導入したサービスを2026年3月よりスタートいたします。

— BUZZMADEとは？

「BUZZMADE」（バズメイド）とは、志さえあれば誰もが自由な発想で商品を企画でき、それを私たちリベルタが、きちんと世の中に届けていく。その全てのプロセスに責任を持って参加者と創り上げていく、私たちの新しい挑戦のプロジェクトです。

▶ BUZZMADE公式サイト
<https://buzzmade.com/>



※ 3月のスタートまではメンテナンス画面となります。



▲BUZZMADEサイトイメージ

— “モノづくり”特化型生成AI導入の背景

▶ アイデアの「言語化・視覚化」の壁を“モノづくり”特化型生成AIが解消

2023年4月のテスト版（アナログ版）開発以来、BUZZMADEは「モノづくりの自由化」を掲げ、一般の個人のアイデアを形にするための試行錯誤を重ねてきました。しかし、優れたアイデアがあっても「企画書にまとめるのが難しい」「リサーチの経験がない」「途中で手間に感じてやめてしまう」など、ユーザーにはさまざまなハードルが存在していました。

今回の正式リリースでは、生成AIの開発プロフェッショナルがAI育成をし、“モノづくり特化型生成AI”をプラットフォームに搭載。長年、数々のヒット商品を生み出してきたリベルタの商品企画スキルやノウハウをもとに、誰もが持つ「こんなものがあったら便利」という断片的なアイデアを、AIとのチャット形式での対話を通じて、市場ニーズに即した「売れる商品の企画書」へと瞬時にブラッシュアップできるようになりました。また、本プロジェクトにおける生成AI導入およびプラットフォーム開発は、DX支援のプロフェッショナル集団である株式会社LIGとの共創によって実現しました。LIGには、生成AI領域に特化した専門チームが在籍しており、最新のLLM（大規模言語モデル）の特性を最大限に引き出す高度な設計を担っています。

－ BUZZMADEでできること

1. 新しい働き方に挑戦できる

自分のペースで気軽に利用でき、ふとした思いつきが魅力的な企画へと育っていく楽しさを味わえます。企画が企業に採用されれば、継続的な収入源として副業にも、本業としての事業化にも。あなたの新しい挑戦の場として活用できます。

2. スキマ時間で収入を得られる

企画した商品が企業に採用されれば、製造数に応じたロイヤリティが継続的な収入源となります。国内はもちろん、海外で販売される可能性もあります。

3. ものづくりを学べる

商品企画のプロのメソッドを学習したBUZZMADE独自のAIにより、企画の組み立てから販売までの流れを自然に習得できます。

4. 無料で使用できる

登録から企画作成まで費用は一切不要。アイデアがあれば誰でもすぐに始められます。

－ BUZZMADEのサポート体制

1. 商品企画のプロが完全バックアップ

創業以来、多くのヒット商品を生み出してきた株式会社リベルタが参加者をサポート。一般の個人のアイデア投稿からAIとのラリーによってAIが生成した企画案をベースに、商品企画開発のプロ達が商品化に向けてブラッシュアップを支援します。

2. 幅広いものづくりに対応

開発に必要なノウハウを持った製造・研究機関100社以上と連携し、様々な企画に対応できます。

3. 国内外への流通販売ネットワーク

国内小売店舗40,000以上、世界60カ国以上の流通網で、顧客ニーズに合わせた販売が可能です。

※投稿応募されたアイデアによる企画が全て商品かされるわけではございません。

－ 進化した「BUZZMADE」の特徴

1. "モノづくり"特化型生成AIによる企画支援

専門的な知識がなくても、AIとの対話によってターゲット分析や競合比較、コンセプト開発をスムーズに行えます。

2. 企画から販売まで一気通貫のプロセス

企画から製造、国内・海外販売、物流までを一元化したリベルタの組織が、よりスピード感のある商品化を実現します。

3. ロイヤリティの継続還元

商品が製品化・販売された際には、製造数や販売数に応じたロイヤリティがアイデアの応募者に支払われます。商品が販売されている限り受け取れる権利です。

— 「BUZZMADE」 AIキャラクター「バズる」のご紹介

ひらめきもモヤモヤも、話せばカタチに。「バズる」は、リベルタの商品開発ノウハウを搭載したAIナビゲーター。プロ視点であなたのアイデアに寄り添い、企画へ育てます。



— BUZZMADE ファウンダーからのコメント

今、世界中が“個の時代”を迎え、考え方や、働き方が、加速度的に変化しています。

YouTube や Instagram、TikTokなどで、個人の情報を容易に発信できるメディアが中心の時代になりました。クラウドファンディングでは、個人単位で投資を受け資金を集めることも可能になりました。

私たちリベルタは、この時代に何をすべきか？ 考えてみました！

それが「モノづくりの自由化」でした。

社会が元気になることを、世の中が明るくなることをしたい、このことをベースに、“リベルタらしいことをしたい。”

そこで、色々な世代、様々な環境で暮らす私たちに唯一、平等に与えられたものが「発想=アイデア」だと考えました。

この自由に考えたアイデアを、長年培ったノウハウやスキルを使ってカタチにすることが、私たちリベルタに与えられた使命だとも確信しました。

これを、世代や年齢、職業や性別、社会的格差も関係なく参加できる、そんなプラットフォームを立ち上げたいと思いました。

このBUZZMADEを知った人が、ワクワクとしてアイデアを膨らませ、自分の夢をカタチにしたいと願う。

それを受け止めたリベルタと一緒に悩み、考え、動いて、きちんと商品にして世の中に届けていく。

そんな、夢物語りを、現実のものとして実現していく、それこそがこのプロジェクトなのです。

株式会社リベルタ 代表取締役
BUZZMADEプロジェクト ファウンダー 佐藤 透



— 株式会社リベルタについて Liberta!

『喜びを企画して世の中を面白くする』という理念のもと、物を得る喜びではなく、その物を得ることで得られる「ココロの喜び」を創造します。

フットケアブランド「Baby Foot」、 “目覚めてすぐキスできる”オーラルケアブランド「DENTISTE」、洗濯機周りの清掃に特化した日用雑貨品ブランド「カビトルネード」、スイス製ミリタリーウォッチ「Luminox」、汗と風で驚きの冷感が持続するクーリングウェア・ギアブランド「FRREZETECH」など、美容・日用雑貨品・腕時計・機能衣類と、幅広いジャンルの商品・サービスを企画・開発・販売しています。常識にとらわれない自由な発想でアイデアを形にし、商品を総合的にプロデュースできることが、リベルタの強みです。

一 株式会社LIG コメント

本プロジェクトでは、BUZZMADEにおけるサービス全体の開発を担当しました。

「小さなひらめきを、未来のときめきへナビゲートする」というコンセプトのもと、BUZZMADEのサービス設計から、AIとのコミュニケーション設計・実装、キャラクターデザイン・モデリング、サービスサイトの制作までを一貫して支援いたしました。

リベルタ様が長年培ってこられた商品開発のノウハウを、AIキャラクターとの自然な対話体験としてサービスに組み込むことで、誰もが楽しく商品企画に挑戦できるよう設計しています。

リベルタ様が掲げるビジョン「モノづくりの自由化」を、BUZZMADEを通して広く実現していけるよう、今後ともリベルタ様と共にBUZZMADEの成長に伴走し、サービスの進化に取り組んでいきます。

株式会社LIG
BUZZMADEプロジェクト取締役 COO 兼 CTO /
DX事業本部長 / 高遠 和也

一 株式会社LIGについて



LIG社のフィロソフィーでもある「Life is Good」という、技術とクリエイティブの両面からBUZZMADEの「モノづくりの自由化」というビジョンを支える戦略的パートナーとして、本プロジェクトにおける生成AIの導入およびプラットフォーム開発は、DX支援のプロフェッショナル集団である「株式会社LIG」との共創により実現いたしました。